

かしま 議会だより



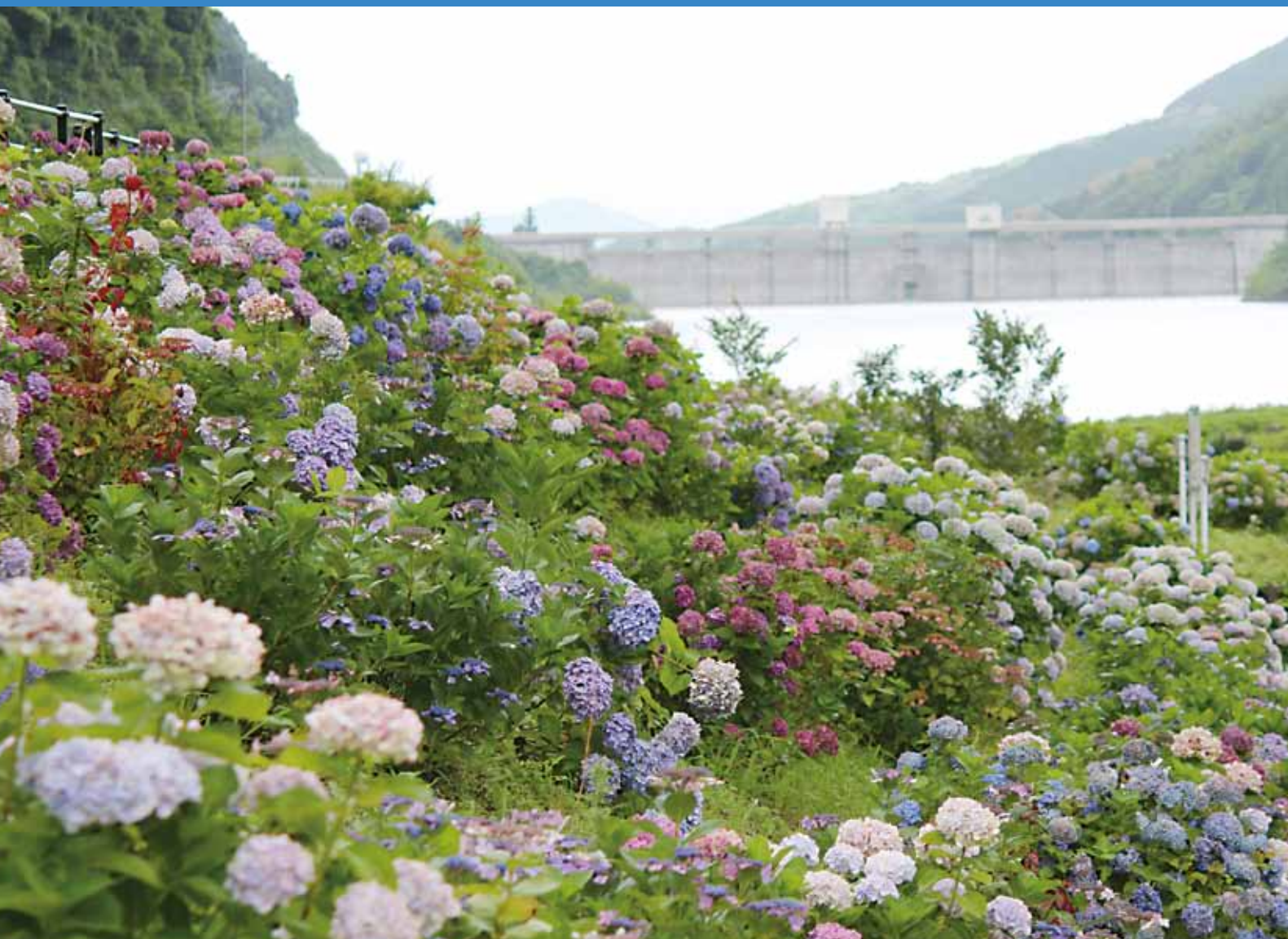
第73号

平成25年6月議会号

平成25年7月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



国道444号線沿いにはあじさいが咲き誇ります。
(中木庭ダムの上にある橋から見たあじさい園)

5月臨時会・6月定例会……………	p2～p3
議案審議・討論・特別委員会中間報告……………	p4～p6
一般質問……………	p7～p11
意見書……………	p12
議長・副議長就任ごあいさつ……………	p13
議会あれこれ・編集後記……………	p14

臨時会・定例会

五月臨時会

平成25年 鹿島市議会

5月臨時会会期日程

1、会期

自 平成25年5月13日
至 平成25年5月13日

2、日程

【5月】

13日開会

会議録署名議員の指名

会期の決定

議長の選挙

副議長の選挙

議席の変更

常任委員の選任

議会運営委員の選任

特別委員会委員の変更

杵藤地区広域市町村

圏組合議会議員の選挙

議案の上程

(市長の提案理由説明)

議案審議(質疑・討論・採決)

閉会

議案

市長提案議案等

(1) 報告第2号 専決処分

事項の報告について(事

故による損害の賠償)

(2) 議案第34号 専決処分

事項の承認について(平

成24年度鹿島市一般会

計補正予算(第6号))

(3) 議案第35号 鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

六月定例会

1、会期

自 平成25年6月7日
至 平成25年6月21日

2、日程

【6月】

7日開会

会議録署名議員の指名

会期の決定

議案の一括上程

(市長の提案理由説明)

8日休会

9日休会

10日休会(議案研究)

発言内容通告締切(正午)

11日休会(議案研究)

12日議案審議、

質疑・討論・採決

13日休会(議案整理)

14日常任委員会

(議案・請願)

15日休会

16日休会

17日一般質問(4名)

18日一般質問(3名)

19日一般質問(3名)

20日休会(議案研究)

21日委員長報告、議案審議

質疑・討論・採決

閉会

採決結果	松尾 勝利	松本 末治	松尾 征子	中西 裕司	橋爪 敏	水頭 喜弘	福井 正	徳村 博紀	光武 学	伊東 茂	角田 一美	竹下 勇	勝屋 弘貞	稲富 雅和	中村 一堯
賛成多数 承認	議長	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成全員 可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成多数 承認	議長	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
賛成全員 可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成全員 可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成全員 可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成全員 可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成多数 可決	議長	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×
賛成全員 採択	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
賛成全員 可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 除・・・除斥(議案に利害関係を有するため審議に参加できない)



議案

市長提案議案等

- (1) 報告第3号 平成24年度鹿島市一般会計繰越明許費繰越計算書について
- (2) 報告第4号 平成24年度鹿島市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
- (3) 報告第5号 平成25年度鹿島市土地開発公社事業計画について
- (4) 議案第36号 鹿島市職員給与の臨時特例に関する条例の制定について
- (5) 議案第37号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例を廃止する条例について
- (6) 議案第38号 鹿島市税条例及び鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- (7) 議案第39号 平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について
- (8) 議案第40号 佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について
- (9) 議案第41号 平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について

議員提出議案等

- (1) 意見書第3号 教育予算の拡充を求める意見書(案)

その他

- (1) 請願第1号 教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する請願

次のことを審議し決定しました

【5月臨時会】

議案第34号	専決処分事項の承認について(平成24年度鹿島市一般会計補正予算 (第6号))
議案第35号	鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

【6月定例会】

議案第36号	鹿島市職員給与の臨時特例に関する条例の制定について
議案第37号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例を廃止する条例について
議案第38号	鹿島市税条例及び鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
議案第39号	平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第1号)について
議案第40号	佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について
議案第41号	平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について
請願第1号	教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する請願
意見書第3号	教育予算の拡充を求める意見書(案)



議案審議

議案第41号

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について



中村 健二 議員

質問 今までピオに入居していたテナントに敷金礼金などが返金されていないということも聞くが、そういった財産管理もきつちりとされていない施設になぜ鹿島市が入居しなければいけないのか。そういった企業と鹿島市が契約できる

のか。

答弁 ピオの財務諸表を見て、経営が楽ではないと思います。

しかし、ピオの経営が良いか悪いかそれを一概に判断するのは難しい。この計画にピオ側もリスクを負うが、ピオ側も鹿島市の街づくりに貢献していきたいと言っておられます。この計画で中心市街地の活性化に繋がることを目指します。

議案第41号

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について



水頭 喜弘 議員

質問 何故「ピオ」の3階・4階なのか。公的施設を移した場合、賑わう保障はあ

るのか。また総合庁舎の問題と公的施設の移転は別問題ではないのか。お年寄り、子供が触れ合い自然な環境の中で遊べるような施設でもいいのでは。

答弁 3階4階に公的施設をもつていくのはベストではないけど商業施設が入っ

ているため。中心市街地の空洞化・活性化はこれですべて解決するとはいえないが、商業施設だけでは中心市街地を維持するのは難しい。行政として中心市街地の活性化にぎわい創出に何ができるか、こういう政策を打ち出し、きつかけづくりをすることが行政の責任だ。

議案第41号

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について



橋爪 敏 議員

質問 「鹿島市シビックセンター再整備構想」の重要なポイントのひとつに「鹿島総

合庁舎の鹿島市内への残留・存続」があると言われているが、なくなった場合の影響は。

答弁 鹿島総合庁舎の施設が市外へ移転ということになれば、県の機関がなくなるというだけでなく、国、県事業予算獲得への悪影響

が懸念され、土木農林事務所の管内発注という経済へのメリットを縮小され、134人の職員の職場が市内から失われ、地元への対応など、鹿島市のまちづくりに関して、いろいろな面で直接的、間接的な影響が生じてくると思われる。

議案第41号

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について



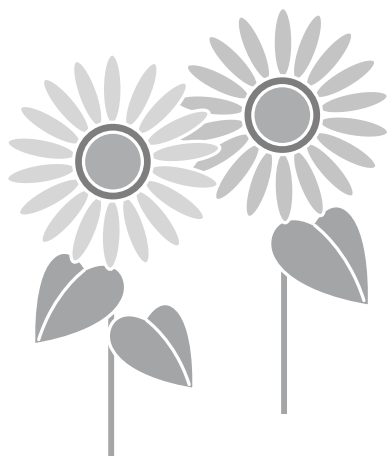
松本 末治 議員

もあるが、将来の鹿島市への投資を今実施するべきと私は考える。共に頑張つてこられた方で、どう考えるかお聞きする。

答弁 平成16年から国の三位一体改革のもと、地方交付税の削減等あつて財政改革を実施してきたが、適時に使うことは、先代市長も考えられていた。



議案審議



議案第41号

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について



徳村博紀議員

質問 ピオの3・4階に市の公的施設移転は事実上、税金での救済ではないのか？

今年1月5日、文教厚生産業委員会とピオ共同組合の意見交換会の中で

①組合員は30件から10件に減少し、大きな負担となっている。テナントを入れても家賃をたたかれない。

②組合員は坪2万円の家賃を払っている。鹿島市が入ったら家賃が10分の1になる。坪2万円が大きな負担になっている事をわかつてほしい。

と言う理事の発言があったと聞いている。まさに民間企業を税金で救済していることになる。この発言をどうとらえるか？

答弁 直接きいていないのでコメントできない。経営状況は楽ではないと聞いている。テナントが入ったとして、経営の安定に貢献したかもしれない。

質問1 築後30年経過し、老朽化したピオの改修費用に約7億9千万円かけて今後何年利用できるのか。

角田三美議員



議案第41号

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について

象となるのか。

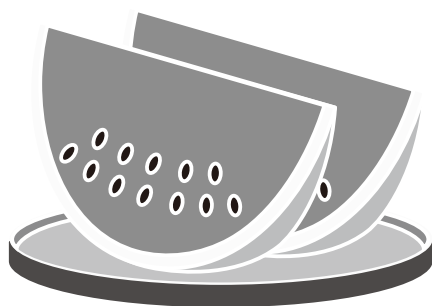
答弁 用地費を除き鉄骨鉄筋コンクリート造で18億7千万円、鉄骨造りで14億4千万円。空きビルの有効活用が前提で、新築は対象外。

質問3 国の補助制度で中心市街地の活性化が図れるのか。

答弁 4億3千4百万円の補助があり、老朽化した公的施設の再配置と市街地の活性化に有効で、是非活用したい。

質問2 仮に同規模の市民交流プラザを平屋建て新築した場合、建設費はいくら必要か。新築は補助対象。

角田三美議員



議案第36号
反対討論

松尾征子議員

鹿島市職員給与の臨時特例に関する条例の制定について

交付税削減というペナルティがつけられての今回の給与引き下げ。さらに人事院勧告なし、憲法違反の引き下げ。これだけとつても今回の給与引き下げは許せない。鹿島市では過去十年のうち四回行政改革で給与の引き下げが行われている。今回は六七%と大幅な引き下げだ。職員の経済は勿論今後の市内の経済に与える影響は大きい。さらに市内で働く人たちの賃金にも影響が出てくる。今回の引き下げはただ単に職員給与の引き下げというものではない。大きな社会問題である。これには反対をする。

議案第41号
反対討論

松尾征子議員

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)

公的施設を「ピオ」3・4階を区分して入居する計画には賛同できません。特に入居するのは、子育て支援施設や高齢者福祉施設を入れることに市民は反対。

県の総合庁舎の問題や国の有利な予算があるので急がなくてはいけないと強硬に押し切られた状態です。市長は最終的には議会が結論を出すと、責任逃れの発言。質問に対して最初から「ピオ」ありき。市民や議会の声を無視して莫大な予算を投入し後世に負担を負わすような今回の予算には反対をする。

討議

討論

議案第41号
反対討論

中村一堯 議員

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)

私の根本にあるのは、「それは市民のためになるか」ということです。本来に市民のためになる施設を作るのだつたら、ビルの3階・4階に移転するはずがない。もつと安全な場所があります。

市民と語る会では、多くの反対意見が出たにもかかわらず、執行部は重く受け止めていない。それが本当に街づくりなのか。

私達、市民はとても厳しい生活をしている。そういう中で毎月維持費が何百万円もかかる計画が市民のためになるのか。まさにピオ救済としか考えられませんか。こんな計画を進めることはできないという立場で反対します。

議案第41号
反対討論

伊東 茂 議員

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)

ピオへの公的施設移転については実施内容と予算が明確になるにつれ上層階での子育て、高齢者施設の安全性、巨額の投資の不安と不満から計画見直しを求める市民の声が日増しに増えてきた。

中心市街地の活性化を名目に「まちづくり」の主役となる市民を置き去りに進める手法には納得がいかない。ここでゴサインを出すのは危険であり熟慮の時間が必要と感じる。これから研鑽を重ね、行政、議会、市民、全ての力を結集して鹿島市のまちづくりに取り組み姿勢が大事である。以上の理由により反対する。

議案第41号
賛成討論

勝屋弘貞 議員

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)

国の有利な補助事業を使い、ピオを区分所有する事で、鹿島市がモデル的街となり、今後市が取り組む駅舎改築・駅前整備・新市民会館等の事業に対し、新たな助成が期待される。

この議案を否決すれば、国・県からの鹿島市への信頼は失墜し、これから先、国や県の助成を得るのが難しくなるといった事にもなりかねない。今回の市のやり方は、良い印象を持ってないところもある。「協働」という意味を改めて考えて頂き、利用者の安全安心・利便性の向上等、十分な検討をお願いする。市民の皆様には代わり叱咤激励をし、賛成の討論とする。

議案第41号
賛成討論

竹下 勇 議員

平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)

今回補正の市民交流プラザ整備予算は、特別委員会や市長と語る会での意見で若干の修正はできたものの、反対の市民も多い。私は、取り組み次第では夢が持てる事業だと思う。

例えば、中心市街地に外出自由な老人ホームや高齢者住宅をつくる。駅前からバリアフリーとし、買い物・病院・銀行・郵便局を利用しやすくなるなど対象を特化することで、民間との連携、国の施策の先取りなど展望が開けると思う。今後市民から意見、要望、アイデアを募集し、実施設計や運営に活かすように申し添え、この案に賛成します。

鹿島市ニューディール構想調査特別委員会中間報告

今回の中間報告は今年3月25日、本会議において14名の委員をもって組織する「鹿島ニューディール構想特別委員会」を設置してから、現在まで委員協議会を3回、調査特別委員会を5回開催してまいりましたが、本日が、初めての報告となります。今回の報告では会議の中で出された主なものを報告させていただきました。

①なぜピオなのか。総合庁舎との関係。リノベーション事業は

執行部＝県総合庁舎を市内に残すため中心市街地の再生が必要ということで取り組んできたがその後リノベーション事業という国の事業が出来て、早急に申請に取り組む必要があった。

②老人、子ども、福祉施設が3、4階に計画されている安全性はどうか。

執行部＝全国的に3、4階以上に設置された事例があ

る。防災面や危険性は万全を期したい。基本的に商業施設は1、2階。

③工事は当初市65%、ピオ35%の説明を受けたが、負担割合が変わっている。市民への説明が必要。

執行部＝負担額の変更は市民へも説明したい。

④6月議会の議案として間に合うようにピオと交渉が出来るのか。もう少し議論してから提案はできないか。

執行部＝事業全体は動かない。財源の仕分けができれば提案できる。6月議会の議案審議に間に合うように出したい。

これ以外にも多くの質問がなされました。今後も継続して「鹿島ニューディール構想」について十分調査、研究を尽くすことを最後に申し上げ報告いたしました。

委員長 松尾 征子

報告

一般質問

鹿島市の少子化対策



福井 正 議員

質問一 県内自治体の内、不妊治療への助成をしていない自治体は、鹿島市・鳥栖市・江北町・上峰町であり、先日鹿島市に転居された女性が、鹿島市に不妊治療助成が無いと知り、転居したことを後悔されたとの話を聞いた。少子化対策の一环として不妊治療助成に取り組みべきでないか。また最近では核家族化が進み、三世代同居の家族が減少しているが、家族団欒や病気の時、子供の精神的成長、子供の世話、

快適な住まいと環境が得られるなど利点がある。一方生活の価値観の違い、プライバシー問題等の欠点もある単身居住者の孤独死防止や子育て放棄事件などを防ぐ観点から三世代同居は有用なことだと思いがどの様に考えるか。

答弁 不妊治療は、佐賀県で取り組まれており、市としてそちらを進めている。今後市としての取り組みを検討したい。三世代同居は高齢者の知識をもらえる、子供の若さをもらえる等のメリットがあると思う。

鹿島市の防災対策

質問二 高津原地区を除く、大字高津原地区の火

災時の消火には、中川から引く水路の水を使う。これらの地区の農地が減少し、生産組合の方々の高齢化で水路整備が困難である。今後水路整備は農業用水としての用途から、防災対策・生活用水としての活用になると思うが市の考えは。また横田堤がヘドロの堆積や、雑草の繁茂で見苦しく、防災面からも浚渫や雑草の除去が必要だと思いが市の対策は。またピオの耐震化工事予定だが、現在ピオは避難施設となっていない。3階4階を避難施設としての活用は考えないか。

答弁 水路については、これまでも調査し水路の状況は分かっている。整備について今後検討したい。横田堤浚渫は多額の費用を要し困難である。ピオは避難施設して有効だと思う。

鹿島ニューデール構想について



松尾 征子 議員

質問一 ピオへ公的施設を入れることになったいきさつは。

答弁 県の総合庁舎移転問題で、県は「市街地の活性化になるなら」と移転が模索された。県は新築はしたくない、「賃貸というかたちで入居出来れば」ということで、ピオ・祐徳ビル・NTT・農協など検討した。ピオについて県は、スペースがあれば面積としていいだろうということだった。が特別な事情でピオには入居できなかった。それを受けて市も中心市街地へ公的施設を検討していたので県の意向を踏まえて決めた。

質問二 構想全体のスケジュールはどのような

っているのか。

答弁 構想は四つの柱からなっている。四つの柱をすべて10年間で全部実施するとうものではない。ショッピングセンター再整備構想に10年間で七十億円見込んで整備を進めるというもの。

質問三 当初家賃を払いフロアーを借り上げることであったのが、区分所有に変更され三階・四階を買い上げることになった理由。

答弁 財政を探る中で、国の新しい補助制度リノベーション事業に合致することが分かったので、入居というリノベーションを生かすために三階・四階を購入することにした。

質問四 商店は開店時間が決まっていると思うが、その場合公的施設の利用時間も制限されるのではないか。

答弁 商店は午後7時に閉まる。市の施設利用につい

ては、階段・エレベーターなど独自施設で利用できる。

質問五 色んな意見が出されているが今の計画についてもエリア内に変更するとしたら変更ができるのか。

答弁 ピオに至った経過はいくつか比較検討して決めたので、変更の考えはない。法的には変更可能。



一般質問

今後、市民の声はどこまで反映されるのか



稲富 雅和 議員

質問一 ニューデール構想について、ピオ3、4階のフロアコンセプトについてですが、今のままでは人の出入りは少ないし、賑わいはないと思う。今後市民の声はどこまで反映され、まちづくり懇話会等検討する場が計画されているのかお聞きます。

答弁 福祉会館を中心に移転し、あらゆる市民の皆様、居場所作りを、市民部等と魅力ある施設作りをしていきたい。市報、HP等でこういう施設があったら良い、こんな活用方法がある等アイデアを募集したいと考えていて、今からでも充分検討できる。

質問二 有明海再生について、豊穡の海と呼ばれる、豊かで特有の種類が生息する海、しかし大規模な貧酸素水塊の形成に代表されるように環境の悪化が顕著で、豊かと呼びにくい海になってきている中で、どのような有明海を見つめる事が出来るかを考え直す必要があると思います、国立有明海研究所（仮称）の今の現状をお聞きします。

答弁 多方面から研究が必要と考え、知事要望、県としても国への政策提言をして頂いている。原因究明、有明海産業振興のために、そして、鹿島市へ誘致のため今後も粘り強く要望していきたい。

質問三 花いっぱい運動展開について、市は自然環境に恵まれていて、緑は多いが花が少ない感じがします。市内に花をいっばいにして、花を見て癒してほしいと思い、現在の緑の基金、花いっぱい運動の状況についてお聞きします。



答弁 基金のお願いをして、市内各地に苗木、花苗、海の森に使わせて頂いている。鹿島実高、商店街の方で、スカイロード、国道等の緑化に使って頂き、また老人クラブ連合会にも委託実施。市民憲章を定めている中で花で彩ることで、住む人も潤い癒しの気持ちを持つ事が出来て、市外から来られる方に印象を良いものにする。

鹿島市が今後予定している事業計画の担当課と予定は



竹下 勇 議員

質問一 今後鹿島市が予定している事業について、担当課と完了予定をお尋ねします。

答弁 公共下水道計画の見直し（下水道課・H25年8月素案・地元説明・H26年3月都市計画決定）。都市計画マスタープランの見直し（都市建設課・アンケート・H25全体構想・H27年度）。駅及び駅前周辺整備（都市建設課・H25年度基本構想・H28年度）、駅トイレの改修（都市建設課・H25年度）、防災センター（総務課・H27年度）、防災無線の改修（総務課・H26年3月）、市民会館の改修（総務課・H30年度）、道の駅全国大

会（商工観光課・今年10月29・30日）、スポーツ合宿受け入れ（生涯学習課）、市民交流プラザ（H26年8月）。

質問二 校区や行政区がまたがり、設置費等の負担が課題となり、未設置となっている場所の防犯灯を、ソーラーLEDを利用して、市費で設置できないか。

答弁 防犯灯は、防犯協会と地元負担で設置及び維持管理をお願いしている。ご指摘の点は、場所や夜間の危険箇所を具体的に調査し、設置を含め検討したい。

質問三 公園の遊具は安全に管理されているか。

答弁 市内に7つの都市公園があり、6か所に遊具が置かれている。危険があるものは撤去し、更新計画に沿って遊具の取替をしている。

質問四 有償ボランティアを意識の高い行政パー

トナーとして育成できないか。又、学校での徳育の現状と先生方の自己教育と実践について。

答弁 学校教育では、週1時限の道徳の時間の他、学校生活の中で協調性や社会性の指導をしている。先生方は、初任者研修をはじめいろいろな研修を受けているが、地元に戻ってのボランティア活動は把握していない。社会教育では、ハウスキャンプやわんぱくスクール等の事業を取り組み、子供と共にスタッフの意識づけにもつながっている。



鹿島市の観光PRについて



勝屋弘貞 議員

質問一 鹿島市のPRについて。

答弁 以前はポイントを絞らず全体的にPRを行っていたが、今は「酒蔵ツーリズム」等、スター素材を中心にPR活動することが、知名度UPに繋がっていると確信する。時機を逸することなく時流に乗り、地に足の着いた活動を行っている。

質問二 囲碁サミットに参加しての感想は。

答弁 思っていたより大きい大会。鹿島市が今後囲碁による街づくりを進めていく上で課題として小さいものではないと感じた。

①街に囲碁の拠点と言え

る施設がある。

②数百人規模の囲碁祭りが開催されている。

③小中学校の教育的効果を狙った取り組みや女性への普及など、囲碁人口の拡大を図っている。

質問三 基聖寛蓮碁式献上1100年事業の一環「ふれあい囲碁」について。

答弁 国内外1000校を超える学校で取り組まれている。思考力・判断力・想像力の向上と、1対1のコミュニケーションを図る事で互いの交流が始まり、仲良くなる事がいじめ防止にも繋がる。軽度の発達障害にも効果があり、自信を持ち授業に取り組めるようになる。教師・地域・PTAを交え、指導法を含め懇談会を予定している。

質問四 「鹿島市日本酒で乾杯を推進する条例」制定後の動き

答弁 観光庁の「酒蔵ツーリズム推進会議」の折、タイムリーな時期に市長が発表し、インパクトがあったと思われる。姫路市・東広島市等、複数の自治体から問い合わせが来ており、いくつかの自治体で条例が可決されている。今後は料飲店組合等に協力頂き、「はしご酒・鹿島版」や酒器の研究等、多方面から考えていく。



鹿島市ニューデイル構想 中心市街地への公的施設再設備について



水頭 喜弘 議員

質問一 商業ビル「ピオ」の3階、4階を取得し、子育て支援センターと高齢者施設を移転させる計画だが、火災が発生した場合の避難に不安がある。停電すればエレベーターは動かない。高齢者や子供、障害者などの利用者が非常階段で降りるのは無理ではないのか。

答弁 避難階段の幅やスプリンクラーの設置数など、法定基準を満たしている。利用者が問題を自分で解決する力も養っていかないとけない。

PM2.5対策について

質問二 微小粒子物質PM25は非常に小さいため肺の奥深くまで入りや

すく、肺がん、呼吸器系の影響に加え、循環器系への影響が懸念されている。テレビ等でもその日の測定値の変化を公表して、市民の方に注意を喚起しているような現状だ。健康被害が懸念されるが、市としてはこの事態をどのように捉えて、どのように対処されるのか。

答弁 県の方では一日70μg/m³を超える場合は注意喚起をするようになっている。現在測定の範囲箇所を4ヶ所で行っているが、6月補正後は12ヶ所に増やす予定であり、それには鹿島市も入っている。

投票環境の改善 期日前投票について

質問三 先の本会議において投票所のバリアフリーや期日前投票に必要な宣誓書を入場券の裏面に印刷して郵送し、投票

者は事前に氏名や住所を記入し投票所に持参すれば期日前投票ができるようにと質問していたが、投票しやすい環境づくりについては何か改善されたのか。

答弁 今夏の参議院選挙からは、入場券の裏面に期日前投票宣誓書を印刷することとしている。また、期日前投票システムを3市3町で導入し、更なる待ち時間の短縮を図っている。尚、期日前投票所を市民会館1階にしている。



一般質問

災害に強いまちづくりを 目指すために



伊東 茂 議員

質問一 改正された鹿島市防災計画の特筆すべき点は。

答弁 国の「原子力災害対策指針」策定に伴う修正と九州北部豪雨災害の反省を踏まえた見直しが主となる。

質問二 災害危険箇所の対象と整備状況及び自主防災組織の状況について。

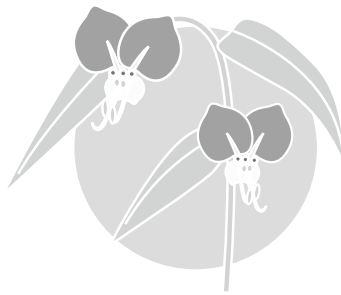
答弁 宅地の裏山危険箇所は7割程度、工事は完了した。未整備区は土木事務所、土砂危険箇所は農林事務所と連携を取り、今後整備予定。河川・高潮対策も浜・七浦地区の早期完了を目指す。自主防災組織は現在、10団体7144世帯

が加入している。今後は防災リーダー育成を目指し支援する。

「鹿島ニューデール構想」 樋口市長が目指す まちづくりとは

質問三 ピオへの公的施設移転計画について概算予算から実施予算へと事業内容が明確になり、「市長と語る会」での参加者は投資額の高さと今後の施設維持経費の負担に不安と不満の声が大半を占めていた。この声は日増しに強くなっている。何故、市長はこの計画をここまで急ぐのか。

市民の意見を聴き、熟慮する必要がある。「まちづくり」とは市民と協力して成し得るものと考える。市民の意見を置き去りにしてでも構想・計画を強硬に進める手法が樋口市長の目指す「まちづくり」なのか。



答弁 鹿島市シビックセンター構想（様々な施設の再整備）については時間軸（限られた期間）に問題がある。市民や団体の意見を吸い上げるワークシヨップ方式は時間が必要。手遅れにならないために急ぐ必要があった。質の高い市民生活、持続する産業、「歩いて暮らせるまちづくり」を進め、古くて新しいコンパクトシティの実現を目指す。

市の計画は行き当たり ばったりではないのか



中村 一 議員

質問一 今年一月執行部からの提案では、ピオ3・4階を七億円で改修工事し、月200万円で賃貸する。その後、二月に出された案では、改修工事をした上に、2億5千万円で3・4階を購入する計画。しかも、五月末には鑑定評価によってピオの3・4階は1億5千万円という価格でした。何も調査がなければ、2億5千万円で購入しようとしていた。ずさんな計画、行き当たりばったりの計画ではないか？

答弁 30年以上前、ピオの場所には市役所がない。単純な商業施設ではない。計画に関しては、

皆さんと議論した結果、改良を重ねた結果が今の形になった。最も有利な条件、最も財源がからないようにやってきた。

質問二 ピオ協同組合が解散した場合の共益費等は、どうなるのか。今は毎月274万円を市が負担しなければいけない計画だが、どうか。

答弁 まずは、協同組合が解散しないように努力する。市が負担する274万円の維持費の内、70万円が共益費。その70万円がピオ協同組合解散によって、どう変わってくるかはまだ公表できる段階ではない。

質問三 ピオ3・4階を取得するとして、ピオが破綻したとする。そうした時に、更なる財政出動をする事、しない事を明言できるのか。

答弁 絶対する、絶対しないというのは、まだ取得もしていないこの状況

では言えない。そういうケースをこの場で議論できない。考えたくない。

質問四 ピオの経営は安定していると言われている。もし経営不安定が表面化した場合、市長執行部に対する責任、多額の税金の財政出動に対する責任をどのような形で結果責任を取られるのか？

答弁 すべて悪い方へ悪い方へ考えたくない。良い方へいくように皆で頑張る。一緒に同じ方向を向いて、最大限に努力をする。

少子化対策と居住環境について



松本末治 議員

質問一 鹿島市の人口3万一千人を維持する為に、10市10町の内8市8町は独自の助成がなされているが、鹿島市は今後独自の助成は考えられているか？

答弁 今後前向きに対応したい。

質問二 古枝定住促進住宅の条例は、下古枝区域に有り「古枝」住宅で良いか。又、七浦・能古見地区内には市営住宅が無いが、地域人口維持の為に市営住宅の建設を考えて欲しい。又、市内の賃貸住宅（アパート）は家賃が他市と比べて高いか？

答弁 古枝定住促進住宅の名称は機会を見て対応したい。七浦・能古見地

区には、市営住宅は現在の所考えていないが今後検討したい。又、市内の賃貸住宅家賃は高くはないが、佐賀市と比較すると高い感がある。

鹿島市の産業振興と鹿島の「顔」づくりについて

質問三 佐賀県南西部地区の中心「鹿島」として、行政・経済・教育・文化の面で確固たる地位を築いてこられたが、現在、法務局、保健所、教育事務所が武雄市へ移転統合され、今後県の出先機関の土木事務所・農林事務所・農業改良普及センターの統合庁舎が移転すれば、鹿島市産業振興にとって大きな痛手（マイナス）となる。今後の一次産業振興の中で大規模化（專業化）に対する市独自の育成について。

答弁 市独自での補助等は現在無く県事業取組に對する市負担を実施して

いる。今後国の所得倍増計画をしっかりと見詰め対応したい。

質問四 七浦干潟体験は年間一万三千人もの交流人口が有るが、市内での滞在は無い。市内民泊（七浦民泊）を松浦市の様に対応が出来ないものか？

答弁 唐津市でも現在民泊を実施されている。今後七浦地区を初めに対応策を検討してみたい。



全国市議会議長会表彰

去る5月22日、東京都で開催されました「第89回全国市議会議長会定期総会」において、正副議長4年で中西裕司議員、議員10年以上で福井正議員と徳村博紀議員が表彰されました。



10年表彰の徳村博紀議員

10年表彰の福井 正議員

正副議長4年表彰の中西裕司議員

意見書第3号

教育予算の拡充を求める意見書

2011年度政府予算の成立によって、小学校1年生の35人以下学級を実現するために必要な改正義務標準法が施行されることとなった。今回の義務標準法改正条文の附則には、公立の小学校2年生から中学校3年生までの学級編制標準を順次に改定することと、その他の措置を講ずることについて検討を行うことが求められており、それらに必要な安定した財源の確保に努めることも明記されている。このことから、今後、全学年における35人以下学級を早急に、着実に実行することは、国としての大きな責務であると考えます。

また、子どもたちが全国どこに住んでいても、どのような環境に育っていても、一定水準の教育を受けられるという、「教育の機会均等」は憲法・教育基本法にも謳われた自明の権利である。

しかしながら、我が国のGDPに占める教育費公財政支出の割合は、OECD加盟国（データのある31ヶ国）の中において最下位であり、教育に対する公財政支出が国際的にも低いと言わざるを得ない。地方自治体財政においても、義務教育費国庫負担制度の国負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられたことで、多くの地方自治体が財政的な圧迫・制約を受け、自治体間格差の広がりが懸念されていることは言うまでもない。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要であり、未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要があることから、下記の事項について強く要望する。

記

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成25年6月21日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣	安	倍	晋	三	様
衆議院議長	伊	吹	文	明	様
参議院議長	平	田	健	二	様
総務大臣	新	藤	義	孝	様
財務大臣	麻	生	太	郎	様
文部科学大臣	下	村	博	文	様



議長あいさつ



鹿島市議会 議長 松尾勝利

この度、鹿島市議会議長に就任しました。前議長死去に伴う責務であり、身の引き締まる思いであります。

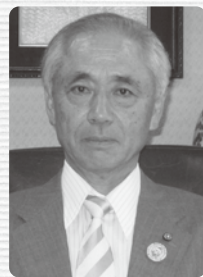
現在、鹿島市では「第5次総合計画」に沿った様々な事業が展開されています。このような中、平成24年度には、「鹿島ニューデール構想」が発表され、本年の6月市議会では、商業施設・ピオに公的施設を移転させる関連補正予算案を可決しました。推進に向けて課題等もありますが、かつての活力を再び取り戻すための事業が推進されていく計画です。

さて、私たち議会は、地域の多様なニーズをくみ上げる「政策形成機能」と執行機関に対する「監視機能」をより充実強化していく必要があります。このことは、市民の皆様の声を率直に聞き、市民の皆様の立場に立った議会運営を図る事だと考えています。

今後共、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



副議長あいさつ



鹿島市議会 副議長 松本末治

今年、5月13日の臨時市議会において、副議長に就任いたしました。二期目で副議長という大役を任され、改めて責任の重大さをかみしめています。

さて、昨今の地方の課題等は、複雑多岐に渡っていますが、鹿島市においては、平成23年度より「第5次総合計画」を策定し、市民の安心・安全、地域活性化、地域福祉など各分野に渡る様々な重要事業が展開されています。

新しい議会を担う議員は、創意工夫・情熱・判断力・責任感などはもちろん、地方議会議員としてさらに市民とのコミュニケーション能力が不可欠であります。

私たちも議会としての役割・使命をしっかりと認識し、市民の皆様への声を的確に把握し、市民生活、市民福祉の向上を目指して頑張つてまいります。 “至誠一貫、市民の捨て石とならん”

議会あれこれ (平成25年4月～6月)

【4月】

- 1日 議会運営委員会
- 2日 全員協議会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 市内小・中学校入学式
全員協議会
鹿島ニューディール構想調査特別委員協議会
議会報告会・議場開放プロジェクト会議
- 12日 議会だより編集委員会
- 18日 鹿島ニューディール構想調査特別委員協議会
議会だより編集委員会
- 19日 第207回佐賀県市議会議長会
- 25日 第88回九州市議会議長会定期総会及び
第1回理事会
- 30日 議会運営委員会
全員協議会

【5月】

- 7日 臨時議会告示日
鹿島ニューディール構想調査特別委員会
- 13日 全員協議会
市議会臨時会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会
- 21日 九州市議会議長会第2回理事会
臨時佐賀県市議会議長会
- 22日 全国市議会議長会第89回定期総会
- 23日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会
全員協議会
議会運営委員会
- 27日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 30日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会

【6月】

- 3日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会
- 5日 議会運営委員会
- 7日 議会運営委員会
6月定例会開会
全員協議会
- 8日 鹿島ガタリンピック韓国交流団歓迎式
- 9日 鹿島ガタリンピック
- 11日 全員協議会
- 12日 市議会議案審議
- 14日 文教厚生産業委員会
文教厚生産業委員協議会
総務建設環境委員会
- 17日～19日
6月定例会 一般質問
- 21日 委員長報告・議案審議・閉会
- 28日 議会だより編集委員会

行政視察受入状況 (平成25年4月～6月)

5月15日

香川県観音寺市議会行政視察(9人)

5月16日

兵庫県高砂市議会行政視察(17人)

議長交際費を公表します。

金額単位：円

	4月		5月		6月		合計	
区 分	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
弔 慰	1	15,000	0	0	0	0	1	15,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝 儀	1	3,000	0	0	2	8,000	3	11,000
会 費	1	2,000	3	8,000	3	12,000	7	22,000
接 遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	2,800	1	2,800	2	5,600
合 計	3	20,000	4	10,800	6	22,800	13	53,600

編集後記

今回から、議会だより編集委員として、委員長・福井正、水頭喜弘、勝屋弘貞、オプザーバーとして、松本末治副議長が担当いたします。よりよい紙面を作るよう努力いたしますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

今回の紙面は、6月議会で最大の争点であった、鹿島ニューディール構想についての記事が多くなっています。それぞれの議員の考えをご理解いただけるよう、紙面づくりをいたしております。梅雨も明け、暑い季節となりました。くれぐれもお体をいたわり、この季節を乗り切られることを願っています。

【編集委員】委員長 福井 正

副委員長 水頭 喜弘

委員 勝屋 弘貞

顧問 松本 末治

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

